

霧島山硫黄山火山ガス組成変化

霧島硫黄山 H 噴気孔近傍で Multi-GAS を用いた火山ガス組成観測を実施している。2019 年 1 月末までの測定では、 $\text{SO}_2/\text{H}_2\text{S}$ 比は 2018 年 4 月の噴火以降低下していたが再度上昇し、 $\text{CO}_2/\text{H}_2\text{S}$ 比は高い状態継続しており、2018 年 4 月噴火直前の組成に類似している。

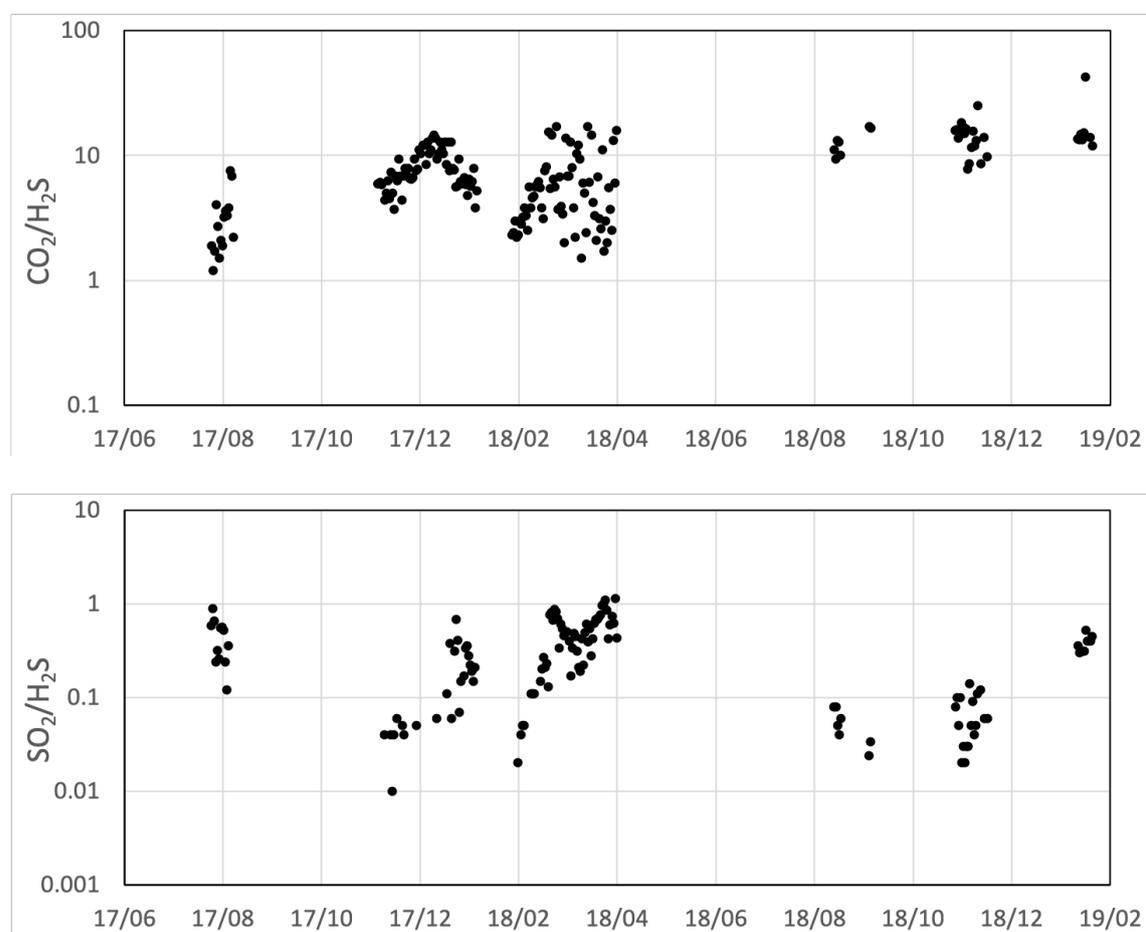


図1 霧島硫黄山 H 噴気孔周辺火山ガス組成変化。上) $\text{CO}_2/\text{H}_2\text{S}$ 比。下) $\text{SO}_2/\text{H}_2\text{S}$ 比

本結果は SIP(戦略的イノベーション創造プログラム)の課題「レジリエントな防災・減災機能の強化」により開発・整備された火山ガス多成分測定装置を用いた連続観測により得られたものである。